

日本光学会平成 17 年度第 177 回幹事会議事録

日 時： 2006 年 1 月 13 日(金) 13:30~17:00

場 所： 機械振興会館地下 3 階研修 1 号室

出席者： 黒田幹事長，他 42 名

議 事：

1. 前回議事録に関する質問事項

- ・ 前回議事録は承認された。

2. 報告事項

2-1. 編集委員会関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・ 発刊作業進捗，Web 公開の議論，新任編集委員が報告された。
- ・ 出版費用一覧が示された。

(2) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・ 掲載および投稿論文状況が示された。
- ・ Springer サーバー公開により，海外投稿増加傾向にある。
- ・ 「Optics Express」の成功例，「Nature Photonics」発刊について議論された。

(3) 「OPTICAL REVIEW」出版委員会報告

- ・ Springer 統計が示された。ダウンロード数は増加傾向にある。
- ・ OSJ (電通大) サーバー維持の方針と統計について報告された。
- ・ 次期出版副委員長選出内規案が承認され，承認された内規に基づき新潟大学・佐々木修己教授が次期出版副委員長候補者として選出された。

2-2. 講演会関連報告

(1) 第 31 回光学シンポジウム進捗報告

- ・ 招待講演と広報活動が報告され，順調な進捗状況である。
- ・ 講演募集ポスターが配布され，掲示のお願いがあった。

(2) Optics Japan 2005 結果報告

- ・ 講演件数 354 件，参加者数 945 名で盛況であった。

(3) Optics Japan 2006 進捗報告

- ・ 企画詳細が報告された。順調な進捗である。
- ・ 日本分光学会，日本眼光学会と共催を交渉中である。

(4) 第 1 回光応用新産業創出フォーラム収支報告

- ・ 参加者は 145 名で盛況であった。次回フォーラムは，技術者を対象として 8 月ごろ開催予定。次回常任幹事会にて企画報告予定。

(5) 平成 17 年度名古屋講演会進捗報告

- ・ 開催日時と 5 件の招待講演が報告され，順調な進捗である。
- ・ 開催場所は名古屋大学・ベンチャービジネスラボラトリーに変更。

(6) 第 39 回サマーセミナー収支報告

- ・ 収支報告が報告された。結果については第 176 回幹事会にて既報告。

(7) カラーフォーラム JAPAN 2005 結果報告

- ・ 結果と収支の報告があった。のべ参加者は 258 名で盛況であった。

(8) OIE'05 実施および収支報告

- ・ OIE'05 の実施および収支について報告があった。黒字は OIE'09 へ繰り越しの予定である。

(9) 平成 17 年度北陸信越地区講演会進捗報告

- ・ プログラム詳細が報告された。順調な進捗である。

(10) 関西五学会関西支部連合講演会進捗報告

- ・ 講演プログラムと共に順調な進捗であることが報告された。

(11) 関西講演会進捗報告

- ・ 詳細なプログラムについて報告された。進捗は順調である。

(12) 第 32 回冬期講習会参加呼びかけのお願い

- ・ 参加者 100 名の予定に対して，約 40 名の現状であり，参加者募集の呼びかけのお願いがあった。

(13) その他

- ・ 近接場研究グループ国際会議組織委員会より，参加者多数で黒字が出たため，日本光学会より受けた助成金を返却したい旨の申し出のあったことが報告された。

2-3. その他報告事項

(1) 幹事選挙結果報告

- ・ 平成 18 年度新任幹事選挙結果が報告された。12 月 22 日開票を行い，23 名の候補者全員が選出された。

(2) 平成 17 年度光学論文賞報告

- ・ 受賞者を下記 2 名とすることが報告された。
北海道大学電子科学研究所 竹内繁樹氏
株式会社ニコン コアテクノロジーセンター 菅谷綾子氏

(3) 平成 17 年度 OJBP 賞結果報告

- ・ 7 名の受賞者とその講演題目が報告された。

(4) 国際協力関係の報告事項

- ・ 韓国光学会との協定更新 (2006 年 1 月~2008 年 12 月)

と APOC 2006 の勧誘依頼が報告された。

(5) 広報活動マニュアル

- ・「光学」およびホームページにかかわる広報活動のマニュアルが報告された。
- ・ホームページの研究グループの情報更新が指示された。

(6) 事務機器購入についての報告

- ・事務運営効率化のためプリンターと PC の購入が報告された。

(7) 協賛依頼について

- ・3 件の協賛依頼について承認された。

(8) 会員動静

- ・12 月は退会者が目立つ時期であり、会員が減少傾向にある。

(9) 光学会ホームページ改善進捗報告

- ・今月末を目途にホームページ評価版を準備していることが報告された。
- ・地方支部および研究グループのリンク更新の意見が出された。

(10) その他

- ・新任幹事に対して旅費申請の方法が説明された。

3. 審議事項

3-1. 次期幹事長選挙

- ・幹事長推薦の上、信任投票で大阪大学・伊藤一良教授が選出された。

3-2. 次期幹事役職決定

- ・幹事会構成と役職構成が提案され、原案通りに承認された。
- ・事務局改善担当幹事が新設された。

3-3. 幹事の引き継ぎ会について

- ・新旧幹事の業務引き継ぎを、3 月 10 日（金）に実施予定である。

3-4. 新研究グループ設立について

- ・「ボリュームホログラムメモリ技術研究会」が新研究グループとして承認された。

3-5. 「OPTICAL REVIEW」臨時予算について

- ・Web System 構築と J-Stage 掲載のファイル変換の 2 件に対して臨時予算支出が承認された。

3-6. 平成 17 年度事業報告

- ・平成 18 年度事業を概観するため平成 17 年度事業が紹介された。
- ・「OR 電子化に対する感謝状」「近接場研究グループ国際会議」の追記、「Optics Japan 2006」を「Optics Japan 2005」に訂正することが指示された。

3-7. 内規（奨励賞・論文賞・役員選挙）改定について

- ・光学論文賞選考規定、日本光学会奨励賞規定、日本光学会奨励賞選考規定の改定案が提案され、全件承認された。

- ・OR 出版委員会副委員長選出内規は光学資料室に保管することが指示された。また、同内規を「光学」に掲載するかは保留とする。

3-8. OR 次期出版副委員長選出内規と次期出版副委員長予定者決定

- ・「OPTICAL REVIEW 次期出版副委員長選出内規案」が承認され、承認された内規に基づき新潟大学・佐々木修己教授が次期出版副委員長予定者として決定された。

3-9. OSJ ロゴについて

- ・日本光学会ロゴをリニューアルすることが提案され、継続審議とすることとなった。

平成 17 年度第 3 回常任幹事会

2006 年 3 月 10 日（金）に応用物理学会会議室において開催されました。「光学」編集報告、「OR」編集・出版報告、APNFO-5 開催報告、北海道講演会実施報告、関西講演会実施報告、光学五学会関西支部連合講演会実施報告、北陸信越講演会実施報告、第 31 回光学シンポジウム進捗報告、第 40 回サマーセミナー進捗報告、名古屋講演会実施報告、Optics Japan 2006 進捗報告等がなされました。また、平成 17 年度研究グループ活動、協賛依頼、会員動静について報告がなされました。さらに、平成 17 年度事業報告、平成 18 年度事業計画、平成 17 年度会計報告、平成 18 年度研究グループ活動計画、ホームページ改善、OSJ ロゴ等について審議が行われました。なお、詳しい幹事会議事録は第 35 巻第 7 号に掲載予定です。

平成 17 年度総会

平成 17 年度総会は、2006 年 3 月 23 日（木）に武蔵工業大学において開催された。

まず、黒田和男幹事長より挨拶が行われたのち、今年度の動向についての説明があった。

会員数は A 会員が 713 名、B 会員が 1057 名、特別会員が 169 口で、漸減の状態が長く続いている。若手会員をいかに増やすかを真剣に考える時期に来ている。そのためには新しい分野を積極的に開拓していくなど対策を練る必要がある。

平成 17 年度に開かれたシンポジウムや講演会は次の通りである。第 30 回光学シンポジウムが 6 月 16、17 日、早稲田大学国際会議場で開かれた。参加者数は 298 名と例年通り盛況であった。第 30 回の節目ということで、5 件の

招待講演を含む通常の研究発表のほかに、パネルディスカッション「光学の進歩30年とその先を読む」が企画された。大変有意義な議論が壇上に展開された。

第39回サマーセミナーは8月19、20日に前年度と同じく富士教育研修所（静岡県裾野市）にて開催された。参加者は48名であった。前年度のテーマが3Dディスプレイであったが、今年度は「光による3次元情報の獲得」と題して3D計測をテーマに採り上げた。例年通り、ナイトセッションでは、特別に用意された光学実験に多くが加わり、参加者一同大いに楽しむことができた。

Optics Japan 2005は11月23～25日まで、学術総合センター（一橋記念講堂）で開かれた。前年度まで2日間の日程で開かれていたが、最近の講演数の増加に対応するため本年度より3日間の開催に踏み切った。参加者総数は945名を数えた。都心で開かれるという地の利があったとしても、これまでの記録を破る参加者が集まり大盛況であった。参加者総数が予想を超えたため、多くの会場において収容人数が不足し、立ち見が出たことは反省点であり、次回には適切に対処したい。また、本年度から、若手の研究者を対象にOptics Japan ベストプレゼンテーション賞が新設された。多数の応募者の中から7件の優れた講演を選んで表彰した。本年度に関していえば、応募講演は押し並べて質の高い優れたものであった。この賞が若手研究者の研究発表の質向上に貢献するであろうことを期待していたが、確かな手応えを感じた。

第32回冬期講習会は「光通信デバイスの新展開」と題し、1月26、27日に東京大学山上会館で開かれた。参加者総数は75名であった。光ファイバーがいよいよ本格的に家庭に導入される時代を迎え、不況にあえぐ通信業界の現状を打ち破る新たな芽が出つつあることを予感させる、内容の濃いセミナーであった。

他学会との共催事業では、3次元画像コンファレンスが7月7、8日に、カラーフォーラム JAPAN が11月30日～12月2日まで開かれた。

12月16日には、第1回の光応用新産業創出フォーラムが東京大学生産技術研究所コンベンションホールで開かれ、145名の参加があった。このフォーラムは産学官連携委員会の主催で、同委員会がこれまで取り組んできた産学官連携に関する検討の結果を公表した。

北海道、北陸・信越、名古屋、関西の各地区において講演会が開催された。北海道は、本年度から応用物理学会北海道支部と共催で開かれることになった。

本年度は日本光学会が主催する国際会議はなかったが、共催の形で2件の国際会議を支援した。

国際連携については、2005年12月で期限が切れる韓国光学会との協定書を3年間延長した。今後、両国の光学会の密なる連携を企画していきたい。また、Optics Japan 2005で招待講演を依頼したSPIE会長のKujawinska教授と、SPIEと日本光学会の連携について意見交換を行った。特に、わが国においてスチューデントチャプターを立ち上げることにについて、相互に協力し合うことを約束した。この件については今後具体的な案を作っていきたいと考えている。

出版関係では、「光学」12号、「OPTICAL REVIEW」6号をそれぞれ滞りなく発行した。電子出版について、「光学」は準備段階にあり、新規論文のpdfファイル化はすでに対応が取られている。また、過去の論文についても、スキャナーで取り込み、デジタルアーカイブを構築する作業を進めている。現在、Web公開の方法について検討中である。「OPTICAL REVIEW」については、Springer社を通じて、第1巻第1号から最新号までWeb上に公開された(<http://www.springerlink.com/>)。今後は論文の査読、編集の電子化を進めていく予定である。

日本光学会の運営には、応用物理学会分科会担当職員と光学会が雇用した時間雇用職員のほか、多くの幹事や各種委員会の委員がボランティアで携わっている。しかし、近年光学会の活動が広がるにつれて、担当職員や庶務幹事の負担が増えている。このような事態を改善するため、事務の効率化を検討するワーキンググループを立ち上げた。幹事の負担を軽減するよう、具体的な方策を提案し実行して行きたいと考えている。

最後に表彰関係について報告する。光学論文賞は、竹内繁樹氏（北海道大学）と菅谷綾子氏（ニコン）に授与された。日本光学会奨励賞は、花山良平氏（光産業創成大学院大学）と高瀬紘一氏（千葉大学）に贈られた。新設のOptics Japan ベストプレゼンテーション賞は、高柳順氏（名古屋大学）、谷澤学氏（大阪大学）、西谷隆志氏（大阪大学）、沼田孝之氏（東京農工大学）、巻田修一氏（筑波大学）、吉澤将則氏（千葉大学）、渡邊恵理子氏（日本女子大学）に与えられた。受賞された皆様に心よりお祝い申し上げますと同時に、今後のさらなる活躍を期待する。また、OPTICAL REVIEW 誌の電子化に多大なご尽力をいただいた米田仁紀氏（電気通信大学）、奥平祥子氏（同）に感謝状を贈呈した。

最後に幹事長任期を終了するにあたり、関係各位へのお礼の言葉を述べられた。

続いて、井出庶務幹事（総務）より平成17年度事業報告および平成18年度事業計画、豊田会計幹事より平成17年

度決算報告、江口会計幹事より平成18年度予算案が提示され承認された。総会の最後に伊東一良次期幹事長から挨拶が行われた。総会終了後、竹内・菅谷両氏による光学論文賞受賞記念講演が行われた。

なお、日本光学会の平成17年度事業および平成18年度の計画等に関する情報は、第35巻第7号の「日本光学会平成17年度年次報告」の中に詳細が掲載される予定である。

第226回「光学」編集委員会

2006年3月8日(水)に、応用物理学会会議室において新旧合同編集委員会が開催されました。第35巻第12号、第36巻第1号の企画決定、第36巻第2, 3, 5号構想案の審議、および第36巻第6, 7号の担当決定が行われました。また、論文投稿・審査状況についての報告、第35巻第4~11号の進捗状況についての報告、ならびに発刊後の反省、会計と幹事会の報告がなされました。さらに、現在電子化作業を行っている「光学」のWeb管理方法について議論されました。その他、特集記事に関連する原著論文の募集について話し合われました。

臨時「光学」編集委員会

2006年3月23日(木)に、武蔵工業大学1号館4階144教室において臨時編集委員会が開催されました。①特集号に連動した原著論文に関する投稿表・投稿規定と発行までの過程の見直しに関する議論、②会誌「光学」記事の一般公開に関する費用、ページのレイアウトに関する議論がなされました。

第31回光学シンポジウム

期 日：2006年6月22日(木)、23日(金)
場 所：東京大学生産技術研究所コンベンションホール
(東京都目黒区駒場4-6-1)

主 催：日本光学会

参加費：早期申し込みの場合、日本光学会会員2,000円、
応物・協賛学協会会員・賛助会員4,000円、非会員
(一般)6,000円、非会員(学生)1,000円。早期申し込みは6月9日(金)までの申し込みに限ります。通常申し込みの場合、日本光学会会員3,000円、応物・協賛学協会会員・賛助会員5,000円、非会員(一般)7,000円、非会員(学生)1,000円。

申込方法：第35巻第4号挟み込みの郵便振替用紙をご利用いただくか、当日現金にてお支払いください。

招待講演(順不同、敬称略)：

1)「コリニア方式ホログラフィック光ディスク(HVD)」

譚小地(オプトウェア)

- 2)「プラズモニック結晶とその応用」岡本隆之(理研)
- 3)「ステッパー光学系の特徴—極限を追求した光学設計—」渋谷真人(東京工芸大)
- 4)「フーリエドメイン光コヒーレンストモグラフィ」谷田貝豊彦(筑波大)
- 5)「回折型光変調素子G×Lによる、2005インチレーザ—プロジェクションディスプレイ(仮題)」菊池啓記(ソニー)
- 6)「Liquid lens technology for adaptive optics: Principle, physical limitations and applications」Bruno Berge (Varioptic)
- 7)「デジタルホログラフィと最近の進歩」山口一郎(群馬大)

問合せ先：キヤノン(株)コアテクノロジー開発本部

光23研究室 本多徳行

〒321-3298 宇都宮市清原工業団地23-10

電話 028-667-5711 Fax 028-667-9602

E-mail: optsympo31@lake.ocn.ne.jp

詳細は日本光学会ホームページ(<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/sympo.html>)をご覧ください。

※なお、第35巻第4号綴じ込みのプログラムに修正(2日目15:50からのセッション)がございます。詳細は上記ホームページにてご確認ください。

第40回サマーセミナー

テーマ：命と光—光学とバイオ・医療との関係—

期 日：2006年8月4日(金)~5日(土)

場 所：富士教育研修所(〒410-1105 裾野市下和田656)

主 催：日本光学会

詳細は本号の綴じ込み案内、または日本光学会ホームページ(<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/>)をご覧ください。

第3回日本写真学会光機能性材料セミナー「有機半導体中のキャリア輸送：基礎と応用デバイス」

光機能性材料中の電子構造やキャリア移動に対する理解が、光/電子を扱うデバイスを設計するための基本的かつ重要なポイントとなっています。有機半導体中のキャリア輸送をテーマとし、その基礎、および応用デバイスに関する講演を企画しました。

日 時：2006年6月14日(水) 10:00~16:40

場 所：東京工業大学100年記念館フェライト会議室
(<http://www.libra.titech.ac.jp/cent/welcome5.html>)

主 催：(社)日本写真学会(光機能性材料研究会)

参加費：1名につき，一般10,000円，正会員・協賛5,000円，学生非会員2,000円，学生会員1,000円。

問合せ先：(社)日本写真学会事務局

電話 03-3373-0724 Fax 03-3299-5887

E-mail: spstj@pht.t-kougei.ac.jp

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/spstj2/gyoji/hikariH18.doc>

事前申込：参加者氏名，所属（勤務先/通学先），連絡先（E-mailまたはFax/電話），資格区分（正会員/協賛学協会会員/賛助会員/非会員/学生会員/学生非会員）上記4項目および『光機能性材料セミナー参加』と明記して，日本写真学会事務局へE-mailまたはFaxでお申込みください。当日参加も歓迎ですが，できるだけ事前申し込みをしてください。

NGL ワークショップ 2006

応用物理学会次世代リソグラフィ（NGL）技術研究会は下記次第でNGLワークショップ2006を開催します。

期 日：7月6日(木)，7日(金)

場 所：日本科学未来館

主 催：応用物理学会 NGL 技術研究会

共 催：応用物理学会シリコンテクノロジー分科会，日本学術振興会「荷電粒子ビームの工業への応用」第132委員会

内 容：基調講演，液浸リソグラフィ，EUV リソグラフィ，EB リソグラフィ，ナノインプリント，マスク技術，レジスト技術，新技術その他

参加費：主催研究会および共催団体会員3,000円（6月20日以降4,000円），一般12,000円（6月20日以降15,000円）。

懇親会：7月6日(木)，懇親会費3,000円。

申込方法：登録制です（当日受付はありません）。下記内容を記入の上，事務局にE-mailで申し込んでください。懇親会費を含め，相当金額を事前に下記振込先に納入ください。請求書が必要な方は，事務局にご連絡ください。

氏名，所属団体（主催および共催団体の場合，その名称を記入），勤務先とその住所，役職，電話，Fax，E-mail，懇親会参加の有無，請求書の有無。

申込締切：2006年7月3日(月)

申込・問合せ先：NGL 技術研究会事務局 相良好美

電話 090-5403-1147 Fax 048-443-4204

E-mail: ZXF10453@nifty.com

費用振込先：三井住友銀行赤坂支店

口座番号：普通1042317

口座名：次世代リソグラフィ技術研究会

代表五明由夫

平成18年度（第44回）茅コンファレンス

テーマ：「物性研究における計測技術の最前線一観る技術は今一」

期 日：2006年9月8日(金)～11日(月) 4日間

場 所：裏磐梯ロイヤルホテル（福島県耶麻郡北塩原村大字檜原字剣ヶ峰1093-309）

参加登録費：10,000円（同伴者5,000円）

参加登録締切：2006年7月31日(木)

問合せ先：東京大学高木研究室

E-mail: m-funo@k.u-tokyo.ac.jp

<http://www.surfchem.k.u-tokyo.ac.jp/44kaya/>

日本光学会 *news* の掲載申込み先：

〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1 (株)東芝 研究開発センター機械・システムラボラトリー
山本雄一郎

電話 044-549-2329 Fax 044-520-2057 E-mail: yuichiro@msl.rdc.toshiba.co.jp

なお，掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで，開催日が1～10日の場合は，開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成18年度幹事(*常任幹事)

幹事長:	伊東 一良* (大阪大)	
副幹事長:	立野 公男* (日立)	笹木 敬司* (北海道大)
前幹事長:	黒田 和男 (東京大)	
庶務幹事:	吉田 文昭* (コニカミノルタオプト)	岡本 隆之* (理研)
	田中 哲* (防衛大)	豊田 晴義* (浜松ホトニクス)
	石橋 爾子* (ネオアーク)	鬼頭 勤* (NTT)
	生駒 晋也* (トプコン)	山本雄一郎* (東芝)
	麻生 修* (古河電工)	
『光学』編集幹事:	伊藤 雅英* (筑波大)	小野寺理文 (能開大)
『OR』編集・出版幹事:	植田 憲一* (電通大)	石井 行弘* (東京理科大)
国際協力幹事:	小西 毅 (大阪大)	各務 学 (豊田中央研)
産学協力幹事:	藪本 浩利 (旭硝子)	藤井 秀雄 (ペンタックス)
将来問題担当幹事:	三宅 隆浩 (シャープ)	清水 賀代 (日本女子大)
電子化担当幹事:	的場 修 (神戸大)	伊藤 達男 (松下電器)
事業・企画担当幹事:	氏家 知子 (ニコン)	矢口 博久 (千葉大)
	佐藤 康郊 (富士ゼロックス)	本多 徳行 (キヤノン)
	板橋 彰久 (リコー)	近江 雅人 (大阪大)
	武山 哲英 (オリンパス)	高橋 進 (凸版印刷)
	吉川 宣一 (埼玉大)	岡嶋 克典 (横浜国立大)
	岡本 淳 (北海道大)	松浦 祐司 (東北大)
